

- 重点的かつ効果的にサイバーセキュリティに対する取組を推進するため、2010年より、毎年2月1日から3月18日を「サイバーセキュリティ月間」に設定。各種啓発主体と連携し、サイバーセキュリティに関する普及啓発活動を集中的に実施。
- 「サイバーセキュリティは全員参加」をキャッチフレーズに、認知度の高いコンテンツとタイアップしつつ、インターネットを介して全国へサイバーセキュリティ月間を伝播させ、サイバーセキュリティに対する関心を高めていただく。

実施予定の主な取組

認知度の高いコンテンツとのタイアップ

- ・ 『ラブライブ！サンシャイン!!』とタイアップし、若年層やサイバーセキュリティに関心の薄い層等を含む幅広い層にサイバーセキュリティに対する関心を高めていただく。
- ・ 9人の主要キャラクターと9つのセキュリティの標語を紐づけた9種類のポスターにより、意識強化だけでなく、具体的にどのようなことに注意して行動強化すべきかをわかりやすく国民に伝える。
- ・ テレワークを含めセキュリティを身近な事例で紹介した4コマ漫画を収録した普及啓発冊子を作成し、オンライン公開しつつ全国の図書館に配送。
- ・ コンテンツのWebラジオも活用。

情報発信の強化

- ・ 官房長官トップメッセージを発信。
- ・ NISCのWebサイトで、有識者による週替わりコラム「サイバーセキュリティ ひとつ言いたい!」を発信。
- ・ 各種啓発主体の実施する行事をサイバーセキュリティ月間関連行事と位置付け、NISCのWebサイトやSNSで案内を行う。
- ・ 「インターネットの安全・安心ハンドブックVer 4.10」を全国の図書館に配送。

NISC主催のイベント・行事の開催

- ・ オンライン普及啓発イベント(2月14日、28日、3月14日(予定))
楽しみながらサイバーセキュリティを学べるオンラインイベントを配信し、意識・理解の醸成、行動強化を促進。
- ・ NISC-CTF(2月17日)〔CTF: Capture The Flag、セキュリティ技術の競技〕
各府省庁・独法等の職員がサイバーセキュリティに関する幅広い技術・能力を競うオンライン競技会を開催。
- ・ 戦略マネジメント層向けWebセミナー(3月18日)
サイバー攻撃の被害を受けた企業から被害経験を通じて得られた気付きなどを講演していただく機会を設け、同層のサイバーセキュリティへの意識・理解の一層の醸成を図る。



『ラブライブ！サンシャイン!!』

学校を舞台に、主人公・高海千歌(たかみ ちか)を中心とした9人の少女たちが、全国大会「ラブライブ!」での優勝を目指して立ち上がる。作品を貫くキーワードは「みんなで叶える物語」。

・「サイバーセキュリティは全員参加」のキャッチフレーズと親和性があり、学校生活という日常が舞台であることから、サイバーセキュリティを自分事として捉えてもらうことも狙いとする。
・紅白歌合戦への出場や、厚生労働省とのコラボポスターに起用されるなど、若年層だけでなく広く国民からの認知度が高い。



「インターネットの安全・安心ハンドブック」の普及



昨年のNISC-CTFの様子